

山の50
大霧山
ポピーの花と

標高 766.6m

山行実施日

5月19日

メンバー

L/I 村

MS、S 田と

S々木

S古、S水や

放射線量

0.023

当初は桜の見頃4月を予定していたが、バタバタと他の計画が持ち上がり出遅れてしまった。週末計画は難しそうだ。私が休める平日の木曜を利用することにした。

ネットで検索したところ、近くに「天空のポピー」と称して、地元の皆野町と東秩父村が牧草地にポピーの種をまき一千万本もの花を咲かせ、町おこしとしているようだ。これは外せない・・・

ポピーの開花に合わせて計画書をつくる。メンバーは6名。当日の夜は定例会もあり、メンバーの中には会報部員もいるため、あまりゆとりは出来ない。加えて交通の便も悪く、平日昼間のバス便は1〜2時間に1本という不便さである。

東武東上線・小川町駅前から白石車庫行きに乗り経塚下車。GWの頃は増発便も出るくらいハイカーで溢れているが、今日は全員が座っていい。

バス停からすぐ山道に入り、沢沿いの緩やかな道をゆっくり登って行く。新緑がまぶしい、大木に巻き付いているツルの造形美を楽しみ、草花の名前が解らないと立ち止まる。ほぼ予定のコースタイムで第一目標の旧定峰峠に到着。



ここからは軽くアップダウンを繰り返して、1.5km先の大霧山を目指す。東側の開けた牧草地からは、堂平山

や別名乳房山と呼ばれる笠山が望める。程なくベンチのある眺望の良い大霧山に到着。山頂からは公開ハイキングで登った美の山や、これから目指すポピー畑も確認できた。メンバーが持参した、線量計で放射線を測定する。

私は実物をみるのは初めてである。政府が山や登山道の放射線量の測定を実施する意向がないため、労山が放射能汚染マップを作製しているようだ。〆分程の休憩の後、記念撮影をして山頂を後にし、粥新田峠に下山する。



ここからは二本木峠方面へと車道を歩きになる。展望が開けた分岐手前に、放牧された乳牛が草を食べている。分岐から西側皆野方面に数百メートル程進むと、丘陵帯一面に、まだ満開とは言えないがポピーが咲き乱れて、観光客の目を楽しませてくれる。花の周遊道から写真撮影し

ながらダラダラと歩くが、これがかなり疲れた。



昼食後、そそくさと粥新田峠まで戻り、橋場バス停までは約3.0km。予定より早い下山で、14:00台のバスに間に合うか微妙なところだ。

リーダーは予定通りにゆっくり下山で、山道を楽しもうと思うが、後続の人を残して先頭集団はひたすら冷たい飲み物を求め、ドンドンと下って行く。先頭集団の迷惑通りには、駅前で冷たい飲み物を供給してくれる、お店探しをしていた。この時間、飲食店は休憩時間なのに・・・さすがと言うか目的達成のメンバーと、取りあえずは無事登頂・・・祝い やっと、50の山から解放された(本音) I村記